

1. 開催日時 令和8年1月23日（金曜日）午後14時30分～午後16時30分

2. 開催場所 仁万の里（機能訓練室）

3. 出席者

共同生活援助事業所きぼう会議構成員

出席構成員 6名（8名） サービス利用当事者 保護者代表 地域代表
福祉知見者 経営知見者 行政

事業者 5名 管理者 管理職員 サービス管理責任者 支援職員

4. 会議内容

開会后、オリエンテーションを経て視察訪問。グループホーム視察後、意見交換会を実施。内容は以下のとおり～

（行政） 住環境について浴室に手すりがないところがある。トイレ共用の浴室であり非常に狭く、また浴槽へ入る際の手すりが全く無く L 型等の手すりを設置したほうがよいのではないかな。

（事業者） グループホームによっては玄関の上り口や壁、脱衣所等に既に手摺が施されているところはある。入居者の ADL の状態を把握しながら、必要な支援や転居の検討なども進めていく。バリアフリー化の進んでいない物件については各所点検し、必要な所は予算を計上し順次整備していく予定。

（地域代表） トイレ、キッチン、ダイニングまた居室綺麗に整頓されていた。

（サービス利用当事者代表） トイレ共用のユニットバスは狭く、若干窮屈さを感じる。また、窓際の設置面が悪く隙間風が入ってきて寒い。洗濯機に通じる水道管設置面付近に穴が開いており同様に風が入ってきて寒いので養生テープで応急処置している。

（事業者） 生活に支障が生じそう、または生じている場合は速やかに担当支援員へ知らせていただきたい。

（行政） 共用スペースと併設されている部屋があり、当該居室の入居者の方のプライベート空間が守られているか。一方で他の居室は独立して個室になっており、プライベート空間が確保されているが共用スペース併設の居室がある居住空間については、玄関扉は常時開錠されたままなのか。また食事以外の時間において、誰でも共用スペースに出入りできる状態なのか。

（サービス利用当事者代表） 共有場所には入るが居室になっているところは絶対に入らない。

（行政） 運用上、共用場所への入室は何時から何時までと設定されているか。

（事業者） 設定していない。基本的に食事の時間のみが入室ということで入居者全員が認識されている。

（行政） 当該建物を建築する際の、設計においてもともと管理者側の空間として建築さ

れたのではないかな。

〔事業者〕 共用スペースは、当該入居者のトイレ、浴室への生活動線と一体化しているため、完全なプライベート空間が保たれているわけではなく、開設した当時の形態の経緯の詳細は承知していない。

〔行政〕 運用において、安全確保とプライバシーの確保において玄関扉が施錠されてなく、当該入居者の行動が制限されるのではないかな。

〔事業者〕 以前から当地区の各住民宅において施錠習慣が無かったことも影響しているのかもしれない。

〔サービス当事者代表〕 今現在でも、施錠しているお宅は少ない。

〔事業者〕 今年度 7 月に開設したグループホームの各居室扉には施錠構造を施工している。2019 年に建築、開設したグループホームは施錠できる形状ではなかったため同居者の居室へ無断で入室するという事案が発生していた経緯から、この度開設したグループホームには各居室扉が施錠できるよう施工した。個人のプライベートを守るためにも施錠施工整備計画を策定していく。

一方で、現在賃貸している物件の形状としては居室間の仕切りが襖や障子戸であるため、整備するにあたっては容易ではなく、また家主との関係性があるのが現状。

これまで施錠施工されているかを重視して賃貸物件を探すことは、担当者をはじめ事業者としての認識はなかったことも要因であると思われる。

〔事業者〕 当時はそこまでの認識を以って契約締結はしなかっただろうと予想する。賃貸するのであれば、予め事業者の費用負担で施錠構造の改築の打診を家主にすることになる。

〔事業者〕 従事者（世話人）からのヒアリングにおいて何か意見があるかな。

〔地域代表〕 たいへんなことはどんなことかと聴くと、冷蔵庫内の食材を確認して献立を立てる事と回答あり。

〔行政〕 視察したキッチン設備について IH コンロだったがガスコンロ使用の所はあるかな。

〔事業者〕 おおかたのグループホームは IH コンロとしている。ガスコンロ使用箇所は、2 グループホームのみ。安全面を考えると整備する必要があると考えている。

〔サービス利用当事者代表〕 夜中トイレに行くと、階段を降りると 1 階の入居者がうるさいと言われる時がある。階段をおりる音ではなくトイレの水を流す音だ。

〔事業者〕 みんなの部屋に聞こえるかな。

〔サービス利用当事者代表〕 一番聞こえる部屋は 1 階の居室のひとつだと思う。

〔事業者〕 注意されるかな。

〔サービス利用当事者代表〕 注意される。

〔事業者〕 確かに当該グループホームでは 1 階居室のある入居者が注意するということを聴いている。とくに当該入居者が不穏のときが多いと認識している。一般的に夜中トイレに行けばどのお宅でも音は聞こえるはず。

〔行政〕 最低限の生活音は仕方がない。

(サービス利用当事者代表) 階段降りてすぐのところにトイレがあり、そのひとの部屋の真正面だから一番聞こえるのは確かだ。

(サービス利用当事者代表) 便器内の蓋がカタカタ鳴る、水を流すことで音が発生する構造だから。

(サービス利用当事者代表) 当事者間の関係性があるから注意に対しては何も反応しないようにしている。

(事業者) 入居者が支援者の帯同を要さず、ご自身で地域住民の方々と関わりがもてる要素がないか、またきっかけがないか伺いたい。

(地域代表) 地区の行事におひとりで来られて参加してくれている。

(サービス利用当事者代表) 地域の活動では楽隊に所属している。祭りがあるときには参加している。地区の環境整備にも参加している。地区のひとからグループホームも参加するか問われ、全員ではないが参加するひとが自分も含め何人かいる。地区の人に顔をおぼえてもらうために必要なことだと思う。

(事業者) 地区によっては区費の徴収はしない、活動にも勧誘しないというところがある。

(事業者) 区費納入、活動への参加について区民同様の処遇をお願いしている。グループホームの各所在地においては地区の受入れに際して温度差がある。また近年は隣近所の付き合いが希薄化してきていることから関わりが持てる機会が減ってきている。グループホームで暮らす方々が地域の方々の支援を受けながら共に暮らせる関係性が築けるよう、そして私たち支援者が橋渡しとなるよう務めていきたいと考えている。

補 足 視察の感想について

- ①事業者の当事者さん目線で個々の願いに向き合っていることが伺えた。
- ②建物が古いながらも概ね綺麗にされていた。また共用スペースは投下なども含め物が整理され清潔であった。
- ③グループホームの居住空間は個々のプライベートが守られる環境は大切だと感じた。
- ④休日に買い物やお出かけをすることが楽しみであるということは大切であると感じ、ささやかではあるが目的や楽しみがあることで生活の質があがっていくと感じた。
- ⑤グループホームを設置する際、土地や物件の状況によるが町の中や地域の中にあると良いと思った。自治会や近所の商店や施設にごく自然に関わったり使えたりする環境が理想だと感じた。
- ⑥文化や芸術に触れたり新たに学んだりする機会があると良いと思った。

最後に職員の方と利用者の方の関係が良いと感じた。世話人さんに時々叱られたりすることあるのが自然でいいですね。